

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2009 助成の概要と推薦理由

助成番号 09-1-2

プロジェクト名 長期療養の必要な小児がん患児の社会復帰の促進を
目的とした啓発・交流事業～全国大会開催を通じて～
団体名 特定非営利活動法人 エスビューロー
代表者名 安道 照子
所在地 大阪府
助成額 300万円
助成期間 2009年10月1日～2010年9月30日
設立年 2000年
U R L <http://www.es-bureau.org/>



小児がんは治る病気になってきたと言われているが、病弱、再発、晩期合併症への懸念から患児の療養と社会復帰のプロセスは依然として厳しい。これに対する社会的なサポートとして、復学支援（「笑顔で学校に帰ろう」）や進学・就職支援、医療学習支援（病気についての正しい知識を持ち主体的に判断する）、サバイバー同士のコミュニティづくり、きょうだい支援などが求められている。

本団体は、2000年から患者側と医療側双方の円滑なコミュニケーションにより相互理解を深め、治療による精神的負担を軽減し、患児と家族のQOLの向上を図ることを目的に、これらの活動を行っている。

今回の助成では、長期療養の必要な小児がん患児の社会復帰の促進を目的として啓発・交流を行う第3回の全国大会の開催を応援する。同大会は本年・昨年と2回行われており、患児とその家族と医療、教育、福祉関係者などが一堂に集まる貴重な機会を提供している。今回の実施を通じてさらにコミュニティ作りが定着することと、患児と家族が直面している課題への理解と必要な配慮をもとめて、広く社会に発信することを期待して助成することとした。